

# uST-SH2/VCP の動作設定について

1 版 2009年2月26日

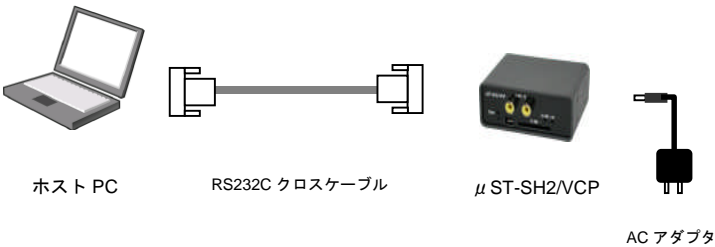
平素は弊社製品をご利用いただき誠にありがとうございます。  
 弊社製品 uST-SH2/VCP を使用する際の動作設定についてご案内させていただきます。  
 また、後述の対象ロット以降につきましては、出荷時に設定済みですので本操作は不要です。

## 1. 対象製品

uST-SH2/VCP

### 2.1 uST-SH2/VCP の動作設定について

uST-SH2/VCP を動作させるためには、出荷時の状態で次の設定を追加してください。

追加設定	Redboot 起動パラメータに uST-VCP 動作用のドライバを読み込む設定を追加。														
追加手順	<p>①uST-SH2/VCP を次のように接続します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>ホスト PC                  RS232C クロスケーブル                  μST-SH2/VCP                  AC アダプタ</p> </div> <p>②ホスト PC でターミナルソフトを起動します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">通信設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>COM 番号</td> <td>任意</td> </tr> <tr> <td>ボーレート</td> <td>38400bps</td> </tr> <tr> <td>データ長</td> <td>8bit</td> </tr> <tr> <td>ストップビット</td> <td>1bit</td> </tr> <tr> <td>パリティ</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>フロー制御</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>③uST-SH2/VCP の電源を入れます。</p> <p>④ホスト PC のターミナルに「Executing auto boot - enter ^C to abort」と表示が出たら、すぐに「CTL」+「C」を入力し、Redboot を起動します。</p> <p>⑤以下のコマンドを入力し、「Enter」キーを押してください。  <code>exec -s -c "console=ttySC0,38400 ustvcv"</code></p> <p>※設定詳細は「AN1006 uST-VCP の使用方法」をご参照ください。</p>	通信設定		COM 番号	任意	ボーレート	38400bps	データ長	8bit	ストップビット	1bit	パリティ	無	フロー制御	無
通信設定															
COM 番号	任意														
ボーレート	38400bps														
データ長	8bit														
ストップビット	1bit														
パリティ	無														
フロー制御	無														

## 2.2 uST-SH2/VCP の対象ロットについて

次に示す製造番号の製品に本設定が必要です。

製造番号：30070011～30070020

## 著作権について

- ・本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りなどお気付きの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・本文書の内容に基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

## 商標について

- ・ SuperH は、（株）ルネサステクノロジーの登録商標、商標または商品名称です。
- ・ その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト  
〒431-3114  
静岡県浜松市東区積志町 834  
<http://www.apnet.co.jp>  
E-MAIL : [query@apnet.co.jp](mailto:query@apnet.co.jp)